

「小諸市議会に関する市民意識調査」についてご協力をお願い

市民の皆様には、日頃から小諸市議会並びに議員の活動にご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

議会では、市民の皆様「議会」を身近に感じていただくと共に、皆様の声を市政に反映させる為、これまで年に一度「議会報告会（議会と語る会）」を市内7か所で開催して参りました。

しかし、新型コロナウイルスの感染拡大により令和2年度は中止を余儀なくされ、本年度については、毎年共催をお願いしている「区長会」の皆様のご意向を伺う中で「議会と語る会」の中止を決めさせていただきました。

そこで今回、「議会と語る会」を今後どのような形で進めたら「市民の皆様」の期待に応えられるかを検討するために、アンケート調査を実施させていただきましたことといたしました。

また、平成31年1月の小諸市議会議員選挙が、小諸市議会初の「無投票」となったことを受け、同年7月に開催した「議会と語る会」では、「市議選の無投票を考える」を意見交換テーマとし、参加された皆様から、議員のなり手不足について議員の定数及び報酬も関係しているとの意見をいただき、令和元年12月定例会にて議会内に「議員定数及び報酬等検討委員会」を設置し、検討を重ねて参りました。

その検討の中間報告を「定数・報酬ともに現状維持」としてまとめ、令和2年11月発行の「議会だより第185号」に掲載し報告させていただきました。このことについても、改めて市民の皆様のご意見をいただき、議会としての最終結論を出すために、調査にご協力をお願いしたいと存じます。

皆様には、大変お忙しいところ誠に恐縮でございますが、本アンケートの趣旨をご理解いただき、ご回答をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和3年7月
小諸市議会議員 清水 喜久男